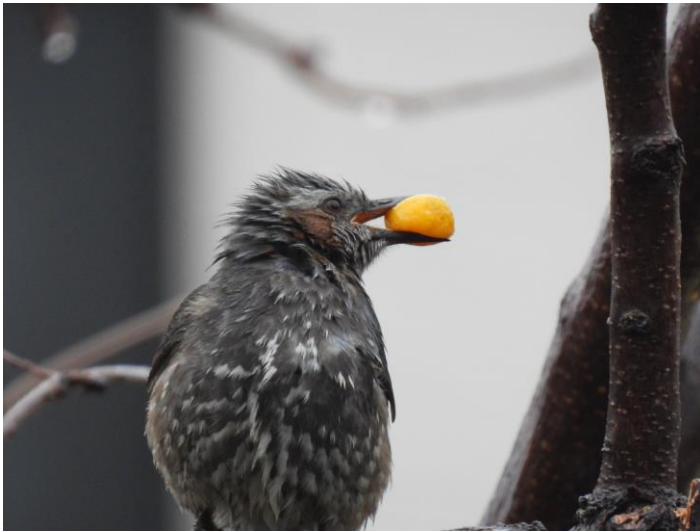
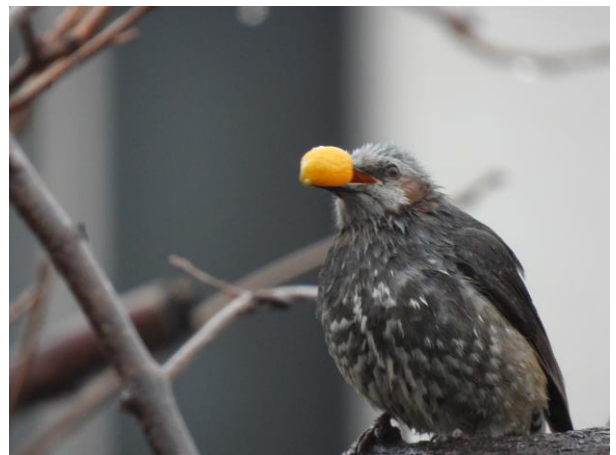


〈でかすぎる〜!〉



毎日庭のキンカンを盗みに来るヒヨドリ、雨が降ってもやってきた。丸ごと一個啜えたはいいが大きすぎるのかなかなか口の中に収まらない。嘴で挟んで潰そうとしてみたり、無理やり飲み込もうとしたり……。ミカンと違って結構皮が硬いので、簡単にはむけない。何度もあれこれ試しているが一向に口の中には入っていかない。笑いをこらえながらしばらくレンズを覗き、最後まで見届けることにした。雨が降っているせいか、あのぼさぼさの頭の毛はムースを付けたようツンツンになって愛嬌たっぷりだ。



ミカンが生ってる時もそうだが、彼らは甘くなる時期を狙って盗みに来る。酸っぱいうちには手を（口を）出さない。ネットをかけて守る手もあるが、ま、この程度なら分けてあげてもいい。黒いあいっだと大きいので被害も甚大だが、ヒヨドリならかわいいもんだ。畑では白菜やブロッコリーの葉を丸坊主にしてくれるいたずらっ子だが、こんな憎めない仕草をされては、邪険にもできない。許してやろう。《ウー、でかすぎて口に入らない》

